

平成 29 年度中濃支部症例検討会報告

日時：平成 30 年 2 月 3 日（土） 16:00～18:00

場所：せせらぎ緑風苑 やすらぎ棟 1 階

参加：30 名（演題発表者 9 名）

春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続く郡上地区です。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度も郡上地区では症例検討会を開催しました。演題数は例年より多く 9 題ありました。又時代に沿った興味深い内容ばかりで活発な質疑応答が行われました。全参加者が有意義な時間を過ごすことができました。

～演題名の紹介～

- ①左視床出血により重度右上下肢痙性麻痺、認知機能低下、高次脳機能障害を呈した症例～移乗動作監視レベルを目指して～
- ②脊髄損傷に対して G-CSF 投与による神経保護療法を施行した治験症例を経験して
- ③腹臥位によるアプローチ
- ④脳梗塞により高次脳機能障害を呈した症例 ～歩行監視レベルを目指して～
- ⑤アテローム血栓性脳梗塞により右片麻痺を呈した症例
- ⑥在宅脳卒中患者の身体活動量・活動範囲に影響を及ぼす要因調査
- ⑦身体と精神に障害を持つ人のリハビリテーションを通して
- ⑧自宅退院へ向け難渋している一例
- ⑨郡上市におけるケアカフェの取り組み

今後も気軽に発表やディスカッションが行えるよう和やかな雰囲気作りを目指し、更に良い症例検討会にしていきたいと思えます。

最後に、演題発表された先生方、参加された皆様、そして運営スタッフの皆様にお礼申し上げます。



中濃支部広報 郡上地区担当
県北西部地域医療センター 国保白鳥病院
井亦 将康